

防災対策

56年以降の集会所耐震検査

平成29年度実施したい



議員 岩義 藤本

かない住宅数は把握できていない。現在、消防署で調査をしている。台帳も不備があるので整理をしていく。告知端末が機能しなかったことは想定外だった。サイレンや防災行政無線も今後検討を行う。

問 現在、各地区で災害時の避難場所として地区集会所の運営マニュアルを作っている

が昭和56年以降の集会所も耐震検査を行い、住民が安心して避難できるように対策を実施する考えはないか。

答 矢野地域住民課長

昭和56年以降に建築された集会所のうち、耐震性に疑問のある市野瀬、拳ノ川、川奥、不破原、市野々川住宅の5集落の集会所は平成29年度に実施したい。

答 矢野地域住民課長

町内の消火栓数は421基で、平成28年度は要望がなかった。備え付けホースの届

道路行政

町道パトロール カー配置を 必要に応じ その都度対応

問 500路線、総延長247kmの町道は維持管理が大変

だろうと考える。町道パトロールカーを配置し、管理が十分行えていない地域、特に山間部の維持管理ができないか。

答 今西建設課長

現在は定期的に職員の月2回の巡回、作業員の移動時の見回りや地区住民の協力で情報を把握し、その都度対応をしている。大雨や台風時にはその前後にも緊急点検を行っており、現体制で安全な道路管理に努める。

問 県道住次郎佐賀線は、四

万十町奥打井川く市野々川のルートがそれぞれの土木事務所
所
で
違
い
が
あ
る
よ
う
だ
が、
町
は
そ
の
こ
と
を
確
認
し
て
事
業
促

進をする考えはあるか。

答 大西町長

担当する両土木事務所の違いがある詳細については把握できていない。両事務所に話を伺い協議整理し、今後の事業促進を図りたい。

情報基盤整備

公共Wi-Fi 整備は

平成29年度から 計画的に

問 国の事業を活用してWi-Fi整備を行う考えは。

答 松本情報防災課長

平成29年度から計画的に整備する。



防災・観光用公共Wi-Fi(無線通信)のイメージ図